

【松江市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

（１）松江市の学校数

小学校32校、中学校15校、義務教育学校2校あり、小中義務教育学校全体では48校ある。（小学校、中学校はそれぞれ大野原分校を含む数字）

（２）必要なネットワーク速度が確保できている学校数

48校/48校（100％）

※校内ネットワークの入口で求められる帯域が文部科学省の示す当面の推奨帯域を満たしているかどうかを確認するため、令和6年度に各学校に設置してあるL3スイッチに測定機器を有線接続し、「iNoniusスピードテスト」を用いた測定方法による実測にて調査を実施した。調査の結果、対象48校の全ての学校において文部科学省が示す当面の推奨帯域を満たしていること確認した。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

- ・令和6年度に市内小中義務教育学校の全ての学校で校内ネットワーク入口の帯域調査を実施。
- ・令和7年度に無線環境における児童生徒端末の接続品質改善のため、ユーザー体感調査で、ネットワークに繋がりにくさや速度が遅いなどの問題が見られる学校で原因の特定や改善に向けた対策を立てることが難しい学校においてネットワークアセスメントを実施する予定である。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和6年度調査において、文部科学省の示す当面の推奨帯域を満たしていることを確認することができた。さらなるネットワーク接続品質の改善に向け、令和7年度にネットワークアセスメントを実施する予定であり、ネットワークアセスメントの結果、改善すべき事項が見つかった場合には、令和7年度以降に設定やネットワーク設備の見直し等によるネットワーク環境の改善に取り組む予定である。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

国が示す当面の推奨帯域を満たしており、差し当たってのネットワークの問題はないと考えているが、令和7年度実施予定のネットワークアセスメントの結果によって問題が発見された場合には、改めて課題解決のために必要な予算確保等を行ったうえで必要な措置を講じていく予定である。